

令和4年度 第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 日 時 令和4年12月20日（火） 午後2時から

2. 開催場所 勝浦市役所 4階 大会議室

3. 出席者

【委員】別紙のとおり

【事務局】勝浦市企画課長（高橋） 政策推進係長（渡邊）

【オブザーバー】ランドブレイン株式会社（瀬戸・佐久間）
エミタスタクシー株式会社（池邊）

4. 会議次第

1. 開 会

2. 議 題

（1）勝浦市地域公共交通計画（素案）について

3. その他

4. 閉 会

5. 議事要旨

（事務局・高橋）

それでは、定刻より少し早いですけれども、ご出席の皆さんお揃いになりましたので、ただ今より、令和4年度第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。

まず始めに、資料の確認をさせていただきます。

会議資料が一体となりました会議次第書、勝浦市地域公共交通計画（素案）、勝浦市地域公共交通計画の策定に係る今後の予定、以上3点となります。いずれも事前に送付させていただいたものですが、お手元にございますでしょうか。

次に、年度の途中ではございますが、委員に変更がありましたので紹介させていただきます。次第書を1ページめくっていただきまして、委員名簿⑫番の小湊鉄道労働組合書記長の堀内様、本日は欠席でございます。

次に委員名簿⑭番の勝浦市民生委員児童委員協議会・会長の内田様でございます。先週、会長に就任されましたので、資料のお名前の欄は空欄にさせていただいております。

委員の変更は以上でございます。よろしくお願いいたします。

次に、本日の出席者数について報告いたします。

委員総数19名のうち、出席者数は17名です。うち代理出席者2名、欠席委員2名より委任状を提出いただいております、委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが、現在のところ、傍聴の申出がございません。

私の方からは以上でございます。これより議事に入りますが、進行につきましては、当協議会の会長の竹下副市長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(会長・竹下)

みなさんこんにちは。ただ今ご紹介いただきました副市長の竹下でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、早速議事に入りたいと思いますので着座にて進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、次第書にありますとおり、今年度中の策定を目指しております、勝浦市地域公共交通計画について、ご審議いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

(事務局・渡邊)

勝浦市役所企画課の渡邊と申します。よろしくお願いいたします。

今年度、勝浦市における公共交通に関する最上位計画となる勝浦市地域公共交通計画の策定準備を進めております。年度前半は、市民アンケートや交通事業者へのヒアリングなど、基礎データの収集、移動ニーズの把握・分析、課題の整理等を行いました。

この度、これらの情報を基に勝浦市地域公共交通計画の素案を作成しましたので、本日、説明をさせていただき、皆様の意見を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、説明いたします。

勝浦市地域公共交通計画の素案をお手元にご用意願います。

表紙をめくっていただきまして、目次がございます。こちらでこの計画書の構成について説明いたします。

1 ページに序（はしがき）として「計画策定の目的と位置付け」、2 ページから「1. 現状把握・地域特性の整理」、20 ページから「2. 意向把握アンケート調査の実施」を記載しております。

68 ページからは、1・2の作業から浮かび上がった課題を、「3. 地域公共交通を取り巻く課題整理」として記載しております。

71 ページからは、3で整理した課題の解決に向けた交通施策の基本方針を、「4. 地域公共交通の構築に係る基本方針」として記載しております。

76 ページからは、4で示した基本方針を実現するための目標や実施事業、また、計画の達成状況を評価するための成果指標を、「5. 計画の目標及び実施事業」として記載しております。

87 ページからは、5で掲げた取組の進捗管理や計画の見直しについて、「6. 計画の進捗管理」として記載しております。

それでは、個別に説明してまいります。

1 ページめくっていただきまして、序（はしがき）として「計画策定の目的と位置付け」を記載しております。

(1) 計画策定の目的としては、要約しますと、地域住民や利用者にとって利便性が高く、持続可能な交通網を形成することを目指しております。

(2) 計画の位置付けとしては、この計画は、活性化再生法第5条に規定する法定計画として、市のまちづくりにおける最上位計画である「勝浦市総合計画」に即し、「第2期勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「勝浦市都市計画マスタープラン」などとの整合を図り、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置付ける計画としております。

(3) 計画区域は、勝浦市全域としています。

(4) 計画期間は「勝浦市総合計画前期基本計画」の計画期間に合わせることにし、令和5年度から令和8年度までの4年間といたしております。

2ページからは「1. 現状把握・地域特性の整理」となります。

「1-1 地域特性の把握」として、(1) 位置、(2) 人口動向、5ページに(3) 主要施設分布状況、6ページに(4) 観光動向、7ページに(5) 交通手段特性を記載しております。

8ページからは「1-2 既存公共交通等の現況把握」として、(1) 鉄道、(2) 高速バス、(3) 路線バス、10ページから(4) デマンドタクシー、14ページに(5) 一般タクシー、(6) 高齢者タクシー利用料助成事業、15ページに(7) スクールバスに関する現況を記載しております。

16ページからは「1-3 上位計画及び関連計画の方向性の把握」について記載しております。(1) 勝浦市総合計画においては、今年度中の前期基本計画の策定を目指し、準備を進めておりますが、基本構想で掲げた7つの基本方針のうち、「⑤快適な環境で過ごせるまち」に公共交通に関する記述がございます。

また、17ページに移りまして、(2) 第2期勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、4つある基本目標のうち、「④ひとが行き交い、暮らしやすい地域の実現」に公共交通に関する記述がございます。

さらに、18ページ・19ページに移りまして、(3) 勝浦市都市計画マスタープラン、(4) 勝浦市過疎地域持続的発展計画においても、公共交通に関する記述がございます。

20ページからの「2. 意向把握アンケート調査の実施」については、計画策定業務を委託しておりますランドブレイン株式会社より説明いたします。

(ランドブレイン株式会社・瀬戸)

《市民アンケート調査》

20ページからご説明いたします。今回意向の把握にあたり、8つの調査を実施いたしました。

20ページには、今回行った市民アンケートの内容が記載してあります。

5歳以上の市民約2,000人を対象にアンケート調査票を配布し、859票回収ができ、回収率は42.2%となっております。調査項目としては、日常的な移動実態、移動のしやすさ、公共交通の利用実態、利用意向についてアンケートを行いました。

21～22ページには回答者の属性、そして23ページでは目的ごとの外出行動をお尋ねしています。真ん中のグラフをご覧くださいと、市民がよく行く外出先としてはベイシアが顕著に多く、居住地域によっては市外の買物先も見受けられます。

24ページは通院についての結果です。一番多い通院先は亀田総合病院で33.3%、次いで塩田病院です。移動手段の大半は自家用車となっています。

26～27ページでは、日常の移動のしやすさと困りごとについてお聞きしています。困る事があると回答された方は25%と、4人に1人にのぼります。年齢別に見ると10、20歳代と70歳以上の、特に「免許がない」または「免許返納者」で困っている方が多くなっています。困りごとの発生する目的は、27ページにあるように通院や買い物で、行先は亀田総合病院が多い状況です。

28ページからは鉄道・高速バス・路線バス・デマンドタクシー・タクシーそれぞれの利用頻度と目的、そしてサービスに対する満足度についての結果が記載されています。

38ページの公共交通の利用意向をご覧ください。直接目的地へ行くバスが運行された時

の希望行先として、ベイシア勝浦店と亀田総合病院が顕著に多くなっています。

40 ページの利用目的では、買い物や通院が非常に多くなっています。利用時間帯は、出発が8～10時、帰宅が11時～13時あたりに最も多くなっています。

41 ページ以降では、今後の公共交通のあり方をお聞きしています。

42 ページでは公共交通の利用促進について質問しています。一番多かったのは運転免許返納者への公共交通割引等の制度の拡充で、その次が路線バス等の増便・時間帯の拡大です。

43～46 ページは地区懇談会についてです。

今回4地区ごとに開催されたワークショップには市民に参加してもらい「困りごと」「困りごとを解決する方法」「地域に出来ること」について話し合っていました。

以下は各地区の特徴です。

勝浦地区では、「デマンドタクシーの共通乗降場間の連絡が欲しい」とか、地区内の移動距離が比較的短距離ということもあり「利用運賃を安くしてほしい」「勝浦地区内の循環バスを運行してほしい」というご意見がありました。

興津地区では、44 ページにある通り「定時に来るバスがあると良い」「夕方の便を減らし、日中に増便してほしい」等のご意見が寄せられています。

上野地区では、困りごとの解決方法には「植野・上植野地区から興津までのバスがほしい」「上総興津駅、勝浦駅に駐車場がほしい」「高速バス用の駐車場がほしい」というご意見がありました。またデマンドタクシーに対し、増便や日曜日の運行という声も寄せられています。

総野地区では、困りごとの解決方法では、デマンドタクシーに対して「市全域で運行してほしい」「高速バス専用の駐車場がほしい」というご意見や、「ワンタッチでコールセンターに繋がるシステム」という案が寄せられています。また46 ページには地域で出来ることとして「亀田総合病院までのシャトルバス実現」という要望が記載されています。

47～48 ページにかけては、民生委員・児童委員へのアンケート結果です。日頃高齢者等のお世話をなさっている方たち51人中、34人からご回答いただきました。興津地区の意見の特徴としては「タクシー利用圏の対象の拡大、配布数の増加」「移動販売車や宅配サービスの導入」の希望がありました。

48 ページ、上野地区では「平日・午前の運行回数増」「亀田総合病院への直行運行」、総野地区では「デマンドタクシー利用エリアの拡大」希望のご意見がありました。

49 ページは、旅行者に対して行ったアンケートの結果です。東京都・神奈川県在住で勝浦市に1回以上訪れたことのあるウェブモニターに対して実施しました。

50 ページは来訪先の結果ですが、多くの旅行者がかつうら海中公園や海水浴場へ自家用車で訪れています。そして51 ページにあるように、約4割の方が勝浦市内を周遊する際に不便を感じています。自家用車利用よりも公共交通利用者において、不便度を感じる割合が高くなっています。必要な情報・サービスに関しては「観光地のモデルコースの紹介など観光情報案内の充実」「周遊バスなど観光地を巡るバスの導入」を希望する声がありました。

52～56 ページは、路線バス（市内4路線）利用者を対象に行ったアンケートの結果です。回答者の属性は53 ページ上段の通りで、平日は20歳未満の通学利用者が多く、その大半は免許を持っていません。

55 ページの主な利用目的ですが、平日は通学、休日は様々です。利用者の満足度は相対的に高いのですが、改善点として増便や時間帯の拡大の希望が多く挙げられています。

57 ページは目的地利用者アンケートの結果です。勝浦駅、塩田病院、ベイシア勝浦店の利用者を対象とし、回答者の属性、施設の利用特性、施設への不便度をお聞きしました。

60～61 ページでは、施設に来るまでの不便度の質問です。約 2 割の方が不便を感じています。年齢別に見ると、60～80 歳で割合が高くなっています。61 ページの上段のように、免許をお持ちでない方は特に、このような施設に来ることに不便を感じています。

63 ページは、市内を運行する交通事業者へのアンケート結果です。鉄道事業者では、「積極的に市の地域活性化施策・街づくりに協力していきたい」「地域の交通としてステークホルダーの協力が必要」とし、マイレール意識の醸成につながる駅清掃や駅舎の活用への協力を希望しています。

高速バス事業者では、「利用者からの増便要望」「高騰している燃料費の補助要望」を挙げています。

路線バス事業者では、「乗務員の不足と深刻な高齢化」を懸念しています。加えて 64 ページでは、一般路線におけるコロナによる利用者減について言及。コロナ前の利用水準には回復していないこと、また乗務員の不足と高齢化、そして 2024 年から法改正による休息時間の延長のため、現状のサービス維持は困難になる結果を予想しています。

デマンドタクシー事業者では、こちらも「乗務員の不足と高齢化」への懸念を挙げています。また「バス路線・系統の廃止と併せたデマンドエリアの拡大検討」というご意見も記載されています。

タクシー事業者では、利用者から台数増の要望が多く寄せられています。また課題として乗務員の確保が挙げられています。

66～67 ページは、関係団体として観光協会等へ行ったアンケートの結果です。

観光協会は、「タクシーを呼んでから来るまでに時間がかかる」「観光地に行くバスの本数が少ない」「巡回する手段が少ない」、そして路線バスに対し「路線バスは休日には増便してほしい」とのご意見が寄せられています。

商工会は、「買い物弱者に配慮した、電気自動車やドローンを活用した共同配送」等の要望が出ています。また既に定期的に行っている「朝空マーケット」等イベントの開催情報を公共交通に掲示するなど、連携を図りながらの取組み案もご提示いただいております。

民宿組合は、「観光バス再開による利用者増加」とのご意見を頂いております。

飲食店組合は、「タクシーが確実につかまらない」「路線バスの本数が少ない」「終バスが早い」などのご意見を記載しております。

(事務局・渡邊)

続きまして、68 ページからは「勝浦市の地域特性や公共交通の現状」及び「意向把握アンケート調査」を踏まえて浮かび上がった課題を 7 つに区分し、「3. 地域公共交通を取り巻く課題整理」として記載しております。

69 ページ・70 ページに 7 つの課題を個別に記載してございますので、見出しのみ読み上げさせていただきます。

①として「高齢者・学生等の交通弱者への対応」、②として「路線バスの維持」、③として「デマンドタクシーのサービス見直し・改善」、④として「広域アクセスに配慮し公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性を改善」、⑤として「観光客への対応」、⑥として「市民・観光客に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成」、⑦として「多様な主体の連携による持続可能性の確保」を掲げております。

ここで資料の訂正をさせていただきます。

68・69・70 ページに①から 7 までの課題が整理されていますが、⑥「市民・観光客に分かりやすい運行情報の提供や利用促進に向けた市民意識の醸成」については、前段と後段とを分割し、⑥「市民・観光客に分かりやすい運行情報の提供」、⑦「利用促進に向けた市民意識の醸成」といたし、⑦「多様な主体の連携による持続可能性の確保」を⑧に繰り上げるものとございます。

続きまして、71 ページからは、「4. 地域公共交通の構築に係る基本方針」の記載となります。

地域公共交通の基本理念として「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」を掲げております。また、先に記載した 8 つの課題に対応しつつ、基本理念の達成のための基本方針を 3 つ掲げおります。

基本方針①として、「広域アクセスや公共交通機関同士の相互連携による利便性の高い公共交通網の構築を目指す」、基本方針②として、「観光需要を考慮した誰もが利用しやすい環境整備による公共交通の利用促進を目指す」、基本方針③として、「多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す」としております。

72 ページには、3 つの基本方針について個別に説明しております。

73 ページから 75 ページには、基本理念の達成に向けた「公共交通のあり方」を記載しております。

まず、1) 公共交通再編の基本的な考え方として、5 つの重点事項を掲げております。

①として「広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現」、②として「観光ニーズへの対応」、③として「亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応」、④として「交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現」、⑤として「観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現」を掲げております。

次に、2) 各公共交通機関の役割として、鉄道・高速バス・路線バス・デマンドタクシー・タクシー・スクールバス等を、幹線・支線・補完公共交通・特定の利用者などの移動を担う交通に区分し、それぞれの位置付けや役割などを記載しております。

また、国のフィーダー補助を活用して運行しているデマンドタクシーについては、運行の必要性やフィーダー補助の必要性について記載しております。

次に、3) 交通結節点のあり方についてでございますが、それぞれの公共交通の接続性を高める重要な場所として、勝浦駅と上総興津駅を掲げております。

続きまして、76 ページからは、「5. 計画の目標及び実施事業」として、先に掲げた 3 つの基本方針に対して 5 つの目標、また、5 つの目標を達成するための 13 の実施事業を掲げております。

具体的には 76 ページに、目標①として「市内の移動支援の充実」、目標②として「移動ニーズに即した広域アクセスの強化」、目標③として「利便性の高い公共交通環境整備」、目標④として「観光施策と連携した移動支援及び利用促進」、目標⑤として「地域全体で支える公共交通の構築」を掲げております。

77 ページは、3 つの基本方針・5 つの目標・13 の実施事業を一覧表にまとめたものでございます。13 の実施事業については、この後説明いたします。

78 ページは、各事業を実施するの中で、「市民」「交通事業者」「行政」に期待される役割について整理しております。

79 ページからは、13 の実施事業の記載となりますので、1 つずつ説明いたします。

最初に目標①「市内の移動支援の充実」にぶら下がる事業でございます。

事業①「デマンドタクシーの運行サービスの見直し」でございますが、現在、市が運行しているデマンドタクシーについて、路線バスやタクシーとの役割分担を図りながら、利用促進を図るというものでございます。

事業②「タクシー事業の維持・充実」でございますが、一般タクシーの特性を理解した上で、タクシーサービスの周知や、「高齢者タクシー利用料助成事業」の実施・見直しを通じて、一般タクシーの利用を促進し、タクシーサービスの維持・充実を図ろうとするものでございます。

次に目標②「移動ニーズに即した広域アクセスの強化」にぶら下がる事業でございます。

事業③「ＪＲ外房線の利用促進」でございますが、千葉県が事務局を務める千葉県ＪＲ線複線化等促進期成同盟及び勝浦市が事務局を務めるＪＲ外房線複線化等促進協議会を通じて、運行ダイヤの改善などについて要請していくとともに、鉄道事業者と連携したイベントの開催や企画切符の周知等による利用促進を図るものでございます。

事業④「高速バスの利便性向上」でございますが、勝浦市を經由する「安房小湊・御宿～東京線」については、新型コロナウイルス感染症による利用者の減少や燃料の高騰などにより、路線の維持が厳しい状況となっており、停留所に高速バス利用者用の駐車場を整備するなど、利便性の向上を図り、利用促進につなげようとするものでございます。

事業⑤「路線バスの維持」でございますが、現在、市内を運行する４路線について補助金を活用し維持を図りながら、さらに効率的で利便性の高い路線の再編について検討を行うものでございます。

事業⑥「亀田総合病院（鴨川市）へのアクセス検討」でございますが、市民アンケートや地区懇談会で意見として上がっている亀田総合病院への利便性の高い交通の確保について、病院直通のシャトルバスの運行などの検討を進めるものでございます。

次に目標③「利便性の高い公共交通環境整備」にぶら下がる事業でございます。

事業⑦「交通結節点の機能強化」でございますが、それぞれの公共交通の結節点として位置付けた勝浦駅・上総興津駅の機能強化を図ろうとするものでございます。

事業⑧「利用しやすい車両の導入促進」でございますが、各種補助制度を活用を検討しつつ、路線バス、デマンドタクシー及びタクシー車両について、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーなど、利用しやすい車両の導入を促進するものでございます。

次に目標④「観光施策と連携した移動支援及び利用促進」にぶら下がる事業でございます。

事業⑨「観光施設等との連携サービスの導入」でございますが、観光施設等と連携した割引サービスやモデルコースの紹介により需用の掘り起こしを図るとともに、周遊バスや夜間の飲食客の足の確保について検討しようとするものでございます。

事業⑩「ＩＣＴを活用した効率性及び利便性の向上」でございますが、行政サービスを含む様々な分野において、デジタルの活用によるサービスの向上が求められている中、情報発信や運賃の支払いのほか、ＭａａＳや配車サービスなど、公共交通分野においてもＩＣＴの活用について検討を進めようとするものでございます。

事業⑪「分かりやすい運行情報の提供」でございますが、現在、公共交通に関する情報は、市の広報やホームページにおいて一通りの情報を掲載しておりますが、利用者目線に立った運行サービス等の情報をブラッシュアップするとともに、目的地となる観光施設や商業施設とも連携を図り、分かりやすい情報の提供による利用促進につなげようとするものです。

次に目標⑤「地域全体で支える公共交通の構築」にぶら下がる事業でございます。

事業⑫「意識啓発を促す利用促進活動の展開」でございますが、利用者の減少により公共交通の維持が厳しい状況にある中、また、世界的に脱炭素社会への取組が求められる中、地域として公共交通を積極的に利用しようとの意識を醸成する、いわゆるモビリティマネジメント活動を進めようとするものでございます。

事業⑬「運転手の確保策の実施」でございますが、現在、公共交通の維持に関しては、利用者の減少と合わせて、運転手不足も大きな問題になっていることから、行政や交通事業者等の関係者で連携を図りながら、運転手の確保対策について検討・実施をしようとするものでございます。

86 ページに移ります。こちらには計画目標の達成状況を評価するための評価指標を記載しております。評価指標としては「デマンドタクシー 1 日平均利用者数」「デマンドタクシーの利用者満足度」「勝浦駅 1 日平均利用者数」「市内停留所における高速バスの年間利用者数」「交通結節点整備箇所数」「観光施設等との連携による利用促進活動の導入件数」「乗り方教室開催回数」「デマンドタクシー運行収支率」「公共交通への公的資金投入額」の 9 つとなります。

続きまして、87 ページからは、「6. 計画の進行管理」として、先に掲げた 9 つの成果指標の確認による目標達成状況の評価や、必要に応じた計画の見直しについて記載しております。

計画の進行管理は P D C A サイクルの仕組みにより実施するものとし、評価・検証は毎年度行いつつ、計画の最終年度に計画を目直すための検証を行うことで、二重の P D C A サイクルを回すこととしております。

88 ページには、評価指標の確認のための調査や評価・検証のスケジュール等を記載しております。

続きまして、勝浦市地域公共交通計画の策定に係る今後の予定について説明いたします。

資料は「勝浦市地域公共交通計画の策定に係る今後の予定」とタイトルした 1 枚のものです。

令和 4 年 1 2 月、本日、勝浦市地域公共交通計画（素案）の審議をしていただいております。

本日、皆様からいただいた意見について修正を加え、1 月上旬には勝浦市地域公共交通計画（案）を作成いたします。この計画（案）を 1 月上旬から 1 ヶ月程度を受付期間とするパブリックコメントにかけて、市民の皆様からも意見をいただきたいと考えております。

パブリックコメントによりいただいた意見に必要な修正を行い、2 月中旬には勝浦市地域公共交通計画（修正案）を作成します。

同じく 2 月中旬頃に協議会を開催し、修正案について審議し、必要な修正を行った上で、勝浦市地域公共交通計画を決定したいと考えております。

勝浦市地域公共交通計画（素案）についての説明は以上です。

（会長・竹下）

ただ今、事務局より説明がありました、勝浦市地域公共交通計画の素案について、ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

（内田委員）

丁寧な説明ありがとうございました。今の説明を聞きまして 77 ページに 13 の事業が計画されておりますが、この 13 の事業に優先順位のようなものはあるのでしょうか。

(事務局・渡邊)

特に優先順位は考えておらず、年次計画のとおり一気に進めてまいりたいと考えております。

(内田委員)

令和8年度までにはこの13の事業は完全に実施されると理解してよろしいですか。

(事務局・渡邊)

検討から実施までを1つの事業としている事業もありますが、まずは、検討・協議・調整をし、可能であれば実施までもっていきたいと考えております。しかしながら、計画年度内に実施できるかは不透明なところもあります。

(内田委員)

提案と形で申し上げます。初めての出席なので勘違いの部分もあるかもしれませんが、説明を聞きまして、亀田総合病院への移動手段については非常に切実な状況にあるんだなと感じております。ですからこれは何としても市民のために実現していただけたら大変ありがたいと考えております。そうしますと計画では令和8年度までの4年間で実現するか、あるいは実現されないかということを考えていかななくてはいけない訳ですね。例えば亀田総合病院への交通手段を必要とされる方というのは、相当高齢の方だろうと思います。4年間というのは高齢の方にとって非常に長い待ち時間になるのではないかなと考えます。市のほうでこういう事業をアピールするのであれば、とにかく何かをやって形として市民に提示するってことが非常に今後の事業の推進にとって有効ではないかなと思います。ですから13の事業を同時並行的に同じような価値でもって進めるのではなくて、重点化をして実現できるものであれば令和8年を待たずに実施するというような取組をしたらこの事業が活性化していくのではないかと思います。

(会長・竹下)

ただ今、貴重な意見を頂戴したところでございますが、事務局として考えはありますか。

(事務局・高橋)

亀田総合病院への移動手段の確保については、相当数の市民のみなさんからご要望・ご意見をいただいているところでございます。令和8年度まで検討・協議・調整・実施とさせていただきますけれども、できるだけ早い時期にまず期間を定めて実験的に運行をさせていただきます、利用頻度など事業の検証をして進めたいと考えております。これにつきましては、バス事業者との調整もございますので、いつから必ず運行するというような確約はできないところですが、繰り返しになりますが、まず、実証運行をしてみて効果検証をし、本格的な運行に移してまいりたいと、また、それをできるだけ早い段階で行いたいと考えております。

(内田委員)

全体の事業の進め方としての意見であり、亀田総合病院への移動手段の確保については事例としてあげたものです。

(成田委員)

立派な素案ができましたので申し少し肉付けをしてもらえればと思われることについて意見を言わせていただければと思っております。

16・17 ページに勝浦市における上位計画及び関連計画の方向性の把握について記載されておりますが、公共交通施策におけるマスタープランである公共交通計画との整合を図るということで、整理されていると思います。例えば総合計画基本構想における基本方針⑤に「快適な環境で過ごせるまち」に交通分野がありますが、公共交通は多くの施策に関連があるので、関連を基本方針⑤に特化するのではなく総合計画全体として公共交通の果たすべき役割を表現したらどうか。また、次に計画書にある 13 の実施事業についても上位計画である総合計画等との整合を示したほうがよいのではないかと。

77 ページにある 13 の実施事業を計画するにあたっては、市民、団体、運行事業者など様々な主体にヒアリングを行った上でこれができていると思いますが、計画を決定する前に団体、運行事業者などに事業の内容について確認する予定はあるのかどうか。

事務局からの説明の中に、課題⑥を前段と後段に分けるといふものがあつたと思いますが、分けるのであれば 70 ページの説明はもう少し肉付けしたほうがよいのではないかと思います。

79 から 82 ページに実施事業が掲載されていて分かりやすいのですが、バス協会から意見として申し上げます。それぞれの事業に 4 年間の実施時期が記載されていますが、検討・協議・調整・実施が区分されていない事業が見受けられる。検討・協議はどの年度までになど、目安として示したほうがよいのではないかと。

計画策定に係る今後の予定の説明の中で、1 月上旬にパブコメにかけるとなっていたが、パブコメにかけると計画（案）の作成にあたり、本日の会議における意見による修正内容は委員には提示されるのでしょうか。

(事務局・渡邊)

総合計画や総合戦略・都市計画マスタープランなどの上位計画等との整合のお話がありました。総合計画に関してはまちづくりに関するすべての分野について書かれており、基本構想における基本方針⑤に公共交通に関する事項が記載されています。この関連性について公共交通計画においては記載しております。ご指摘のとおり公共交通は様々な施策分野における前提条件となっておりますが、この部分では行政施策の関連性を示すことを目的としておりますので、現在のような記載としたいと考えております。

13 の実施事業と上位計画との整合についてのお話ですが、総合計画の基本構想においては具体的な取組までは記載しておりません。また、実施計画においてももう少し幅広く取組が読み取れるように記載しております。いずれにしても大きな方向性としては総合計画に沿ったものとの認識で間違いはありません。

13 の実施事業を計画に記載するにあたって、計画を決定する前に団体、運行事業者などに事業の内容について確認する予定はあるのかといふお話ですが、これにつきましては現在実施する予定はありません。

70 ページの課題⑥を前段と後段に分けるといふことに関して、分けるのであれば説明にももう少し肉付けしてはどうかというお話ですが、これにつきましてはご指摘のとおり対応してまいりたいと考えております。

79 から 82 ページの実施事業の実施時期についてのお話でございますが、計画期間の中で継続的に検討・協議・調整・実施のサイクルを繰り返すようなものは、年度の区分をい

たしておりませんが、修正について検討させていただきます。

本日の会議における意見による修正内容の確認については、本日お答えできる範囲でお答えさせていただき、詳細については会長と事務局に一任していただきたいと考えております。

（事務局・高橋）

補足になりますが、計画の修正案については、パブコメに付すると同時に、委員のみなさんにも送付させていただき、ご意見をいただければと考えております。

（成田委員）

時間的制約がある中、無理なことは言いませんが、公共交通計画が活きたものとなるように検討をお願いしたい。

（高橋委員）

72 ページの基本方針③についてですが、まちづくりと公共交通施策の連携についてもう少し補足していただければと考えております。

77 ページに記載のある実施事業⑪については、目標④に属するのではないか確認いただきたい。

（事務局・渡邊）

72 ページの基本方針③の記述についてのお話ですが、総合計画や都市計画マスタープランなどの記述との整合を図り、もう少し具体的な記述としたいと思います。

（事務局・高橋）

77 ページに記載のある実施事業⑪の分類につきましては、ご指摘のとおり修正させていただきたいと思います。

（加藤委員）

実施事業⑬の運転手の確保策の実施については、バスにしろタクシーにしろ運転手不足の問題を解決しない他の事業は実施が難しくなると考えますので、優先度を上げて実施していただければと思います。

（事務局・渡邊）

この問題については以前から言われていることでもありますので、計画期間の開始を待たずに、事業者さんとの連携の可能性について協議してまいりたいと考えております。

（渡邊彰委員）

13 ページのデマンドタクシー利用者アンケートに関するグラフが掲載されていますが、カラーにしたほうが見やすくなると思います。また、21 ページの市民アンケートにおける回答者の属性について、年齢と職業がグラフが逆になっているようなので修正をお願いします。

(事務局・渡邊)

ご指摘のとおり修正させていただきたいと思います。

(会長・竹下)

他に意見がないようでございます。

それでは、勝浦市地域公共交通計画の策定に関しましては、先ほど、事務局から説明があったとおり、進めることとなりますので、よろしくお願いします。

これにて議題については終了となります。次に、その他として何かありますでしょうか。

(事務局・渡邊)

事務局より報告がございます。

9月9日付けで市内の市野郷区長より「公共交通機関の衰退に伴う移動手段の拡充に関する要望書」が市長宛に提出されており、その内容について説明させていただきます。

内容は、公共交通の縮小により高齢者、体が不自由な方の通院などの移動が大きな負担となっており、具体的には鴨川市の亀田病院へ通院する際に、電車やバスなどの乗り継ぎにより時間的、身体的な負担が少なく、また、タクシーを利用した場合は経済的負担も大きいことから、その対応についての要望でございます。

もう1点、12月9日付けで勝浦市議会観光振興議員連盟会長より「夜間における市民及び観光客の移動手段の確保への意見書」が市長宛に提出されており、その内容について説明させていただきます。

内容は、勝浦市飲食店組合の役員と、夜間におけるタクシーの運行状況や運転代行の状況等について意見交換を行ったことを踏まえて、夜間における市民及び観光客の移動手段の確保を求めるものでございます。

なお、この2つの要望・意見につきましては、先ほど説明した勝浦市地域公共交通計画における目標を達成するための実施事業として、検討していくと記載しておりますことを申し添えます。事務局からは以上です。

(会長・竹下)

他に何も無いようでしたら、本日の会議はこれをもちまして閉会といたします。

長らくのご審議ありがとうございました。